

事業番号	390
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	美術振興事業					担当部	教育委員会事務局			
	会計区分	一般会計		事業類型	一般	担当課	文化振興課				
	事業期間	平成12年度以前		～	平成30年度以降		担当係	文化振興係			
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		15 文化振興		1 市民が文化芸術に親しめる機会を充実します				
		副目的	15-2								
	予算区分	款	10	項	5	目	5	大	3	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧市文化振興ビジョン									
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	市民の美術への関心を高め、美術文化の振興を図る。									
	内容 (手段)	<p>○25年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民美術展(3,116千円) 市民からの作品を公募することにより市民の美術への関心を高め、美術文化の振興を図ることができた。10月27日から11月4日の会期で実施し、一般出品作品356点、賛助・委嘱作品52点を展示し、延べ5,605人の入場者があった。 また、美術展終了後、優秀作品の特別展示を各市民センター及び公民館で行い、地域での鑑賞の機会を提供した。職員は市民美術展常任・運営委員会の開催、事前PR、展示の設営、スケジュール管理を行った。 ・美術鑑賞講座(85千円) 名古屋造形大学や名古屋芸術大学と連携して2月2日から3月16日の日曜日に5回実施した。ワークショップを取り入れた参加型の講座を開催し9名が受講した。さまざまな姿を持った美術作品を身近に感じるためにワークショップを主軸にして、体感的に美術への理解を深めた。職員は講師の手配・受講料の徴収・講義の運営補助を行った。 ・巡回ミュージアム 文化振興課所有のレプリカ絵画の巡回展示を6月18日から12月20日まで希望する中学校5校で実施し、身近なところで世界の名画に触れる機会を提供した。職員は、学校との日程調整・レプリカ絵画の運搬を行った。 ・美術鑑賞共催事業(1,000千円) メナード美術館と共催し、全戸配布される市広報にメナード美術館企画展の無料券及び割引券を掲載し、多くの市民に本物の名画を鑑賞する機会を提供した。開館25周年記念コレクション名作展Ⅲ「近代日本画と工芸」4月20日～6月30日、コレクション名作展Ⅳ「西洋美術」7月11日～10月6日、コレクション名作展Ⅴ「近代日本洋画」10月12日～12月23日 来場者37,512人(招待券利用者2,765人、割引券利用者141人) ・市民ギャラリー企画展(400千円) 「新発見！？自由気ままな絵の世界」を6月26日～7月7日、「移動美術館 もののふの絵姿と茶の湯のうつわ」8月13日～9月8日、「幽玄の世界～能面と能版画展～」を9月11日～9月19日、「小牧南高校写真部作品展 高校生の日常」を1月26日から2月1日まで、「名古屋芸術大学連携企画「伝言」伝言は新鮮なうちに 只今お預かりしています！展」3月12日～3月21日まで行い、様々な文化や作品を紹介した。 ・小牧山アート事業(1,816千円) 450年記念事業として自然と芸術の調和を来訪者に感じていただけるよう小牧山史跡公園を中心に彫刻展やワークショップを開催した。こども造形ワークショップ9月21日、小牧山史跡公園彫刻展11月11日～11月24日、ダンボールで巨大なお城を作って遊ぼう！11月17日 ・ギャラリーアテンド謝礼(320千円)、ギャラリー用消耗品費等(58千円)、備品購入費(239千円) <p>○26年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術鑑賞講座講師謝礼(85千円) ・ギャラリー用消耗品費等(62千円) ・美術展開催委託料(3,283千円) ・美術鑑賞共催事業委託料(1,000千円) ・市民ギャラリー企画展開催委託料(1,000千円) 									
	受益者負担	有 美術鑑賞講座1,000円×9人=9,000円									

コスト	費用			単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額
		直接経費		千円	4,534	5,008	7,034	5,430
正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10	0.10		
		人件費	千円	526	526	526	526	
	その他職員	従事者数	人	1.00	1.00	1.00	1.00	
		人件費	千円	2,242	2,508	216	216	
費用合計		千円	7,302	8,042	7,776	6,172		
対前年比		%		110.1	96.6	79.3		
財源	一般財源	千円	7,267	8,011	7,767	6,132		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	35	31	9	40		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	美術展出品作品数	点	目標		370	370	370
実績				356	354	356	
共催事業展覧会	回	目標		2	2	3	3
		実績		2	2	3	
績	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
			美術展入場者数	人	目標	4,200	4,500
				実績	4,457	5,223	5,605
招待券等入場者数	人	目標		3,000	2,000	2,000	3,000
		実績		1,515	1,501	2,765	

事業の自己評価	平成25年度の実施結果		
	事業の達成状況	市民美術展の出品作品数は、目標達成に至らなかったものの、ギャラリートークを充実させたり企画展示を実施することによって入場者数は目標達成につながった。メナード美術館は、開館25周年記念にあたり共催の展覧会を3回実施したため入場者数は増加し、市単独では実施できない名画等を気軽に鑑賞できる有効な機会となった。	
	事業実施における課題	市民美術展は、美術協会、書道連盟、写真連盟と連携して実施しているが、会員が固定化しており高齢化が懸念されている。若い世代にも関心が高まるような美術文化事業の展開や発信が必要と考える。	
	事業を縮小・廃止したときの影響	誰もが、気軽に市民美術展に参加できる機会と市民の美術に対する魅力を存分にアピールできる場が失われ、芸術への関心が低下する恐れがある。また、小牧市の誇りであり文化資産でもあるメナード美術館に、気軽に足を運び本物の名画に触れる機会を提供することができなくなる。	
改善内容	平成26年度の	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	市民美術展の会期中に、美術協会、書道連盟、写真連盟によるワークショップを取り入れ、市民の美術に対する興味や関心を高めるとともに美術文化の底上げを目指す。レプリカ絵画を活用した巡回ミュージアムについては、実施する学校や絵画を選択性にするなど学校のニーズを把握する。
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	昭和33年から実施している歴史ある市民美術展は、美術愛好者の底辺の拡大と質の向上を図る上で有効であるが、マンネリ化しない工夫が必要である。また、若い世代に関心が高まるような情報発信が必要である。	
	27年度以降の改善案	市民美術展のギャラリートーク及び企画展示をさらに充実させ、出品者だけでなく来場者にもわかりやすく魅力を発信していき、美術文化の底辺拡大に努める。小牧市の文化資産であるメナード美術館を有効に活用し、市民の誰もが参加しやすい環境づくりを積極的に推進することにより美術文化の裾野を広げる工夫をする。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。